

成人講座 水道橋博士を迎えて



7月5日(土)



第774号
 発行人 ● 豊丘村公民館
 館長 市澤和宏
 編集人 ● 長野県下伊那郡
 豊丘村公民館報
 編集委員会
 0265-35-9066
 印刷所 ● 龍共印刷株式会社

私たちの村
 (8月1日現在 ※外国人を含む)
 男 3,223人
 女 3,233人
 総人口 6,456人
 世帯数 2,255戸

成人講座 下積み、国会議員……
「出会いに照れるな」
 で挑戦を続ける 成人講座運営委員長 木下 浩一

七月五日、ゆめあるてにおきまして、第三回成人講座が行われました。

第三回の講師は、元参議院議員・著述家の水道橋博士で「出会いに照れるな」と題したお話でした。博士の人生はそれこそ、波瀾万丈です。八十年代のスーパージョッキーの頃からウオッチしていましたが、ビートたけしさんの弟子になるまでの苦労や、長い下積み時代、テレビの本番番での降板騒動、X(旧ツイッタ)からの意見の対立と裁判、そして参議院議員当選から鬱の発症による在任六ヶ月での辞職、そこから奮起して、四十歳年下の放送作家である若林凌駕氏と結成した漫才コンビ「十四歳」、現在は、自身のドキュメンタリー映画の作成等と山あり谷ありの人生でも、前向きに歩んで来られた足跡を熱く語られていました。

その中で、下積み時代に培われた、出会いにおける挨拶の大切さ、そこから相手に対して自分自身の思いを伝えることなく、積極的に表現する大切さを説かれました。



来年も公民館成人講座を宜しくお願い申し上げます。

また、博士自身、何度も「これで自分も終わりか」と壁にあたりましたが、いつまでも現役と心に決め、挑戦し続ける爽快な心意気を強く共有することができました。

後半は、会場の方の質問に答える形で進められました。参加者のみなさんからは、積極的な質問や感想が多数寄せられ、それに対して丁寧な受け答えされていた博士の姿にも感銘を受けました。

皆様のご要望を踏まえ、より充実した講座となりましますよう努めます。

来年は、いよいよメモリアルな十周年を迎えます。

第3回とよおか元氣塾

小早川毅彦さんを

ゲストに迎え開講

7月19日(土)

アテネ五輪アーチェリー銀メダリストで豊丘村のふるさと応援大使を務める山本博さん(日本体育大学教授)が毎回異なるゲストとともに構成する「とよおか元氣塾」。その第三回目となる講演会が七月十九日、元プロ野球選手で野球解説者の小早川毅彦さんを招き交流学習センターゆめあるてで開催されました。

「元氣に生きる!目標に向かって進む力」と題する山本さんの講演は冒頭、元氣を作り出す日々の生活、そのもたらすメリットを概



山本 博さん



小早川毅彦さん

説。その際、元氣の素となる「目標」を期間など具体的に定めることが大事と位置づけ。たとえそれが達成できなくとも耐性が得られることもあり、子供の頃から目標を明確にする習慣を身に付けることの意義に触れます。

一方、ベテラン選手らが口にしがちな「今度の大会を集大成にしたい」といった発想には異議を表明。自らエントを決めて臨むくらいなら次の目標をしっかりと持ち、目標をバトンリレーしていくべき。特に次代を

(池野隆)

最後に小早川毅彦さんは「スポーツの力で心豊かに、野球を通じて思うこと」と題して講演。初めに、広島県での幼少期から小学生時代にわたった病気による制約、中学生時代の野球との出会い、高校(PL学園)時代の厳しい上下関係や「トイレの水」に纏わるユニークな経験とそれらを耐えての甲子園出場、法政

物めがけて必死である。いてもたってもいられないので毎日行く。一日中山の中を歩き回る。暗いうちから懐中電灯を点けて探す(私は経験がないが…)。

まさしく「松茸狩り」は祭りである。夢にまで見る松茸狩り。血騒ぎ肉躍るその時が今年もまもなくやってくる。待ち遠しいなあ。

(小池光好)

段立

テレビのドキュメンタリー番組などで祭りの準備や稽古に熱を入れ、没頭するお祭り男の映像を見るにつけ、「あんなに熱狂できる祭りがあるなんて、いいなあ」と羨望を抱かずにいられた。しかし、よくよく考えてみたら、我が故郷にも全国区の祭りには負けず劣らず熱狂する祭り事があるではないか。そう!

松茸狩りである。

梅雨の頃から「今年はどうだろうか」と頻りに話題にあがる。夏ともなると暑さや雷雨が気になってしょうがない。九月に入るとお湿り頂戴と願い、少し涼しくなると戻り残暑にならないようにと祈る。会合等では期待と不安が入り混じった面持ちで会話に花が咲く。出始めの頃になり、誰々が山に行つたとか採つたようだとか耳にする。ソワソワ落ち着かなくなる。森林組合や取り扱いたい店に持ち込まれたと聞くと目の色が変わってくる。最盛期ともなれば松茸の話でもちきりとなる。松茸狩り、と言う位だから、皆獲物めがけて必死である。いてもたってもいられないので毎日行く。一日中山の中を歩き回る。暗いうちから懐中電灯を点けて探す(私は経験がないが…)。

コミュニティスクールってなに?

第3回

コミュニティスクール地域学校 コーディネーターを紹介します

南小学校コーディネーター

第二回に続きコミュニティスクール、地域コーディネーターの紹介です。その経験はスキルとなり、その技を子どもたちに伝えてもらいます。地域の方々と共に子どもを育てていけるようコーディネーターします。

コーディネーターは地域の皆様の技を把握し、学校に伝えられるよう地域を把握します。地域には沢山の経験を積んだ方がいて豊丘

を降り、映画の映像に思いを巡らしながら歩いた。帝釈天で手を合わせ、江戸川の土手を散策した。最後に寅さんの実家のだんご屋「くまのまや」が再現されている「寅さん記念館」を訪れた。実際に使用されていたセットを移設したもので、茶の間での滑稽なやりとりやタバタなどの名場面がまぶたに浮かんで来た。

ティアの方たちと触れ合うことをとても楽しみにしています。言葉や希望を交わしたり、見守り、伝え「夢や希望を持って豊丘で学び」豊丘で育った事を誇りに思える子どもに地域みんなで関わりたいと思います。

学校と共に豊丘の技を伝えたいと思います。

ボランティアの方も技を伝えることで子どもからパワーや元気をもらいます。相乗効果が生まれます。

地域の皆さんも子どもとかわりみなどで地域の子どもを知って、見守り、伝え、子どもを育てていきます。育て、見守り、伝え「夢や希望を持って豊丘で学び」豊丘で育った事を誇りに思える子どもに地域みんなで関わりたいと思います。

学校と共に豊丘の技を伝えたいと思います。

ボランティアの方も技を伝えることで子どもからパワーや元気をもらいます。相乗効果が生まれます。

地域の皆さんも子どもとかわりみなどで地域の子どもを知って、見守り、伝え、子どもを育てていきます。育て、見守り、伝え「夢や希望を持って豊丘で学び」豊丘で育った事を誇りに思える子どもに地域みんなで関わりたいと思います。

学校と共に豊丘の技を伝えたいと思います。

ボランティアの方も技を伝えることで子どもからパワーや元気をもらいます。相乗効果が生まれます。

地域の皆さんも子どもとかわりみなどで地域の子どもを知って、見守り、伝え、子どもを育てていきます。育て、見守り、伝え「夢や希望を持って豊丘で学び」豊丘で育った事を誇りに思える子どもに地域みんなで関わりたいと思います。

学校と共に豊丘の技を伝えたいと思います。



歌は世につれ〜 四十六話

家族の有り様とは…『男はつらいよ』

上佐原 小池 光好

ての親のおじちゃん(父親の弟)、おばちゃん、そして寅さんを加え家族となった。純粋な縦の血筋で成る伝統的な家族ではない。山田監督曰く、「血縁で強く結ばれている訳ではない。擬似家族、血縁にとらわれない家族像、家族の有り様を描き続けた。人間としての繋がりが大切である」。

寅さんとさくらの銅像



とよおかコンサート

~ジャンルを超えて広がる音楽の世界~

豊丘村交流学習センター
ゆめあるて 大ホール
9月13日(土) 開演 15:00 開場 14:30

夢見た遠か地平線

その27 MDGs=SDGsニウム開発目標からSDGs=持続可能な開発目標へ

北市場一 福澤郁文

今年の文化事業は、二年ぶりのとよおかコンサートです。今回は、前回のとよおかコンサートで素敵な音楽を届けてくださった、ソプラノ歌手の小石峯暁子さん、バリトン歌手の田中俊太郎さん、ピアニストの菊池智恵子さんに加え、前回友情出演してくださった、ドラマの萩原朋学さんをお迎えします。

小石峯暁子さんは豊丘村在住のソプラノ歌手。小石

みなに ①7 パートナリシップで目標を達成しよう！

シャプラニール市民による海外協力のNGO活動が三〇年を迎えた。この時代には、すでにSDGsの掲げる目標と合致する活動が多かった。

デザイナーとしての私の仕事も地球環境に関する仕事が多くなってきた。またSDGsの目標と関連する仕事も続いていた。ポスターデザインから教科書の編集まで、企画とデザインを担っていた。私は広告デザインはやらない、と考えていた。

TVコマニシャルは繰り返し人間の欲望を煽り、販売する。人々は商品を購入し使い、消費してまた捨てる...そして、再生産を繰り返す。

現代の宣伝広告をとりまく状況は、私の求めるデザイン行為とは異なるかと考えていた。反発もないわけではなかったが、広告だけがデザインではないと、他の道を探っていたのだ。

社会の人びとにとって、NGOの活動やボランティア活動などと仕事との両立は、困難かもしれないけれど、多くの人びとが仕事のみでなく、社会的な活動も生活の中に併せ持つような社会にすることを、理想としてきた。

SDGsが目指す社会の実現は、これからひとり一人の行動への決断から始まるのだとおもう。

誰ひとり取り残さない社会の実現を。

安田 明博(中芝) 多くの皆さまのご来場をお待ちしております。

【実行委員】

壬生 一(小園)
平澤 澄子(北市場二)
森田 益弘(筏)
森田 幸江(筏)
小原 一弘(林原)
昼神 智(地藏道)
原 みほ子(寺垣外)
片桐 大寿(山田)
菅沼 秀夫(林里二)

MDGsは二〇〇〇年に定められた国際目標である。九〇年代に開催された主要な国際会議・サミットで採択された「国際開発目標」と、国連の「国連ミレニアム宣言」を統合して作られた地球課題である。

先のMDGsの取組みではいくつかの成果を上げた。貧困問題や初等教育の就学率は随分と改善され、よくなった。しかし、地球環境の問題や女性の地位向上など、いくつもの課題もまた取り残されている。

すべての子どもに予防接種を1990

2秒に1人。

unicef

ユニセフのキャンペーンポスターは Bangladesh の子ども

右 1980年以後、市民ボランティアが増加していく
左 NGO活動の機関誌デザイン 木版画も制作

MDGsポスターはネパールの少女

なせ南は動えるのか
ユニセフ協会の小冊子

SHAPLA NEER-26
ボランティア研究

公民館報研修会に参加

地域の魅力発信へ意欲

6月21日、軽井沢町で開催された長野県公民館報関係者研修会に、豊丘村から6名が参加しました。この研修会は、県内の公民館報の質向上を目指す年に一度の機会です。熱心な関係者が集まりました。

まず講演会では、小諸市の元編集委員が登壇し、全国公民館報コンクールで2年連続金賞を受賞した経験を共有しました。身近な住民の声を集める取材のコツや、公民館報の地域における役割を具体的に紹介。世界

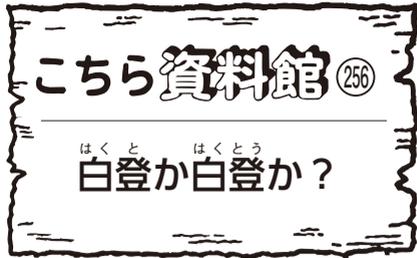


に感銘を受けた様子でした。続く分科会では、研修会に集まった約80名が小グループに分かれ、公民館報の課題を熱心に議論しました。どの自治体も「内容のマンネリ化で住民の関心が薄れる」悩みを



抱えており、記事やデザインの刷新が解決策として多く挙げられました。参加者は「地域の歴史や自然、人の魅力をもっと発信したい」と意気込みを語り、公民館報を通じて地域活性化に決意を新たにしました。研修を通じて、参加者全員が新たなアイデアと情熱を持ち帰り、今後の活動に活かすことを誓いました。

くとう」というんですか?」と聞いてみた。同席していた壬生教育長も「はくと」だと思っていたと言いついて話してくれた。吉沢さんは「私もはとそう呼んでいますが、地元の方々が「はくと」なら、それでいいんじゃないですか」と言いつつ、白登の号の由来について話してくれた。白登の本名は、片桐貞三。修業時代の号は師匠の安藤耕齋がつけてくれた「友谷



最近、ふと気になったのだが、当村出身の南画家片桐白登の白登は、「はくと」と読むのか、どちらが正しいのだろうか? そんな疑問を持ったのは、六月末、展示会の打ち合わせで、生前の白登と親交の深かった昭雲堂表具店の吉沢武英さんが資料館においでになった時のことである。吉沢さんが「はくと」とはつまり呼んでいるのに驚いた私は「今まで自分分は「はくと」だと思込んでいたが、正しくは「は

と読むのか、どちらが正しいのだろうか? そんな疑問を持ったのは、六月末、展示会の打ち合わせで、生前の白登と親交の深かった昭雲堂表具店の吉沢武英さんが資料館においでになった時のことである。吉沢さんが「はくと」とはつまり呼んでいるのに驚いた私は「今まで自分分は「はくと」だと思込んでいたが、正しくは「は

自習スペースができました!



交流学習センターゆめあるてのフリースペースに、1人用の机とイスを設置しました。どなたでも自習などにぜひご利用ください。

とよおか100年前

「豊丘村民話集」より

ミイラ

毛涯美利

竜東線より分岐して壬生沢にいたる道路付近の墓地。今より五十年前、老婆が死去したのでその家の先祖

代々の墓地に埋葬せんとてその柩を埋める墓穴を掘り進んだところ、白骨ならで

「ミイラ」が出現した。着物を着て縮柄もはつきりして

いて、髪にさした櫛もそのまま。江戸時代から明治、大

正、現代まで職人が技巧の粋を凝らした櫛もあるほど

(壬生雅穂)

で、これも一緒に埋めたのでしよう。突然のミイラに出会ってびっくりさせられたであろう。気味悪がってそのまま別の穴を穿ちて埋めてしまったという。考古学者や史学会の方々が古代研究のため各地で地下を掘っているが、弥生文化や古代住居の出土品のうちにミイラも出現することならん。

(豊丘村民話集・第三集 (昭和五十三年)より) 文責:壬生雅穂



片桐白登

だつたが、二四歳の時白登と改めた。白登とは江戸末の文人画家渡辺崋山の字名「伯登」からとつたもので、一人前になつたら「伯」にしようと思つていたという。さて、問題は「伯登」の読みである。ネットで調べたが、崋山の字名が「伯登」であると書かれていてもその読みを明記したものはないに発見できなかった。

「はくと」と「はくと」昭雲堂さんが言うように、こだわる必要のないどっちでもいい事なのだろうか? ご存知の方がいましたらお教え願います。 (資料館主任 唐澤武彦)

俳句 短歌

雷鳴や鈍くなりたり身のこなし
大暑なる郡上の町で鰻食う
夏潮の大屋根リング吹き渡る
山開雪山山讃合唱す
終日の十葉手入香をまとふ
日の出前新種馬鈴薯ぞくぞくと
片桐 洋子
森田 恵子
木下 眞水
松岡 照子
宮下 純子
丸山 時子

図書館だより 8月号

五日(金) 壬生沢福島 集落拠点施設
時間 午後八時~九時
▲本の紹介▼
『図説 怪異百物語 江戸東京篇』 湯本 豪一(著) 河出書房新社
江戸時代出版された「百物語」本は、創作物語ではなく、誰かが体験した「事実」を集めた怪異集でした。その本当らしさが人々の興味を引き、人気を集めたようです。明治に入ると怪異譚は新聞に掲載されるようになり、さらに大きな広がりを見せます。本書はそうした様々な情報源から江戸、東京の怪異譚を百話収録しています。物語を彩る錦絵挿絵は鮮やかな色使いが美しく、ユーモラスな表現もあり、それらを眺めるだけでも楽しめるそうです。また怪異譚ですが「ヤドカリの昇天」など、愉快な題名にも注目ください。

▲蔵書点検依頼のお知らせ▼
図書館は蔵書点検に伴い、次の日程で休館いたします。
九月九日(火)
九月十三日(土)
ご不便をおかけしますが、よろしく願います。
▲お楽しみ会のご案内▼
図書館では、九月のお楽しみ会を開催いたします。
日時:九月二十一日(日) 十時三十分
場所:ゆめあるて 研修室一・二
出演:おはなし紙ふうせん 内容:紙芝居、絵本、エプロンシアターなどなど。楽しいことがいっぱいどうぞ皆さんお越しください。
▲移動図書のご案内▼
九月の移動図書
二日(火) 伴野勤労者福祉センター (図書館 田中絵美里)

柳 (豊丘村川柳クラブ豊柳会)
▼課題「米」 福沢勝美 選
新米へ小さな田んぼ期待され 原 美風
八十八手にかけて一年米実る 林 もも子
軸吟:令和の世米で騒ぎの瑞穂国
▼課題「貧」 互選
清貧に生きて悔い無し九十年 福沢 勝美
物豊か心貧しい令和の世 山本 義彦
▼自由吟 山本義彦 選
身の丈に合う幸せ知らず居る 西元 峯子
贅沢がごみ袋から透けて見え 小澤 凜
軸吟:世界中猛暑と洪水同居して

夕虹や仕事を終へて素に戻る
児のバケツ今宵もいきて打水す
ほつれたる蜘蛛の囀のいな家
夏一朝空の色乗せ我が天竜川
上高地の芍薬の花可憐なる
あした散るそぶりも見せず蓮の花
(とよおか短歌会)
ふるりに帰りたいけど帰れぬと従姉の便りに公民館報送る 筒井 恵子
おとうさんがはたけにひまわりうえていた「ことしきれいにしたいいな」 小学一年 筒井 逢月
焦げ臭い臭に慌てて思い出すいよいよ来たか度忘れの齡 松尾ヒサコ
ルビー色なわしろぐみにほくそ笑む「ぐみ甘いよ」に振り向かぬ孫 福澤貴美恵
薔薇の赤夕陽に映えて風に揺れ独りの夜はビートルズ聴く 福澤 郁文
芍薬の朝つばみも夕べには百の花びら笑みかけけるる 大原真由美
永かりき九十七年の来し方を問うごと聞こゆ冬の風 毛涯百合子
七夕に雨が降っても困らない牽牛織女もスマホの動画 福澤 亀人

